

ISO TC92(Fire safety) SC1(Fire initiation and growth) ブリュッセル会議

2011.11.20 棚池

1. 日時：2011.11.02~11.04
2. 場所：CEN-CENELEC Management Centre 4th floor: CEN-CENELEC Meeting Centre
3. 出席者：10 カ国 27 名

建築・住宅国際機構より依頼を受け、ブリュッセル（ベルギー）で行われる建築材料等の防火試験を検討する ISO/TC92/SC1 関連 WG に参加いたしました。

国際的な動向として、近年 ISO 関係の材料関係の燃焼性試験は、ISO13785 の外装材試験や ISO13784 のサンドイッチパネル試験および ISO9705 のルームコーナー試験等、大型試験装置を使用する試験規格が目立っております。

しかし日本国内では、設備を保有する機関が少ないことやコスト面から、これらのラウンドロビン試験への参加は難しいのが現状です。この状況を鑑みて、日本が ISO に提案し、2006 年に ISO/TS 規格になったのが ISO/TS17431「Reduced-scale Model Box Test」の模型箱試験です。

今回の WG では、昨年（財）日本建築総合試験所とともに参加し実施した ISO13784-1 サンドイッチパネル/ラウンドロビン試験における模型箱試験の結果を、ISO/TS92/SC1 国内幹事である吉岡英樹氏（国土交通省国土技術政策総合研究所）と共同で発表し、ISO/TS17431 規格の有効性を示すとともに、国際規格の動向を調査しました。

今回の成果は、GCOE として国際化への対応を図る上で有意義であったと考えます。

○WG 7 - Large and intermediate scale tests (2011 年 11 月 2 日 10:30 – 12:30)

【発表の概要】

吉岡氏が ISO/TS 17431 について、日本の模型箱試験(Japanese box method tests)の概要を説明し、合わせて日本でこの模型箱試験で実施した RR サンドイッチパネル材の試験結果を報告した。この試験は、模型箱内でサンドイッチパネル材料を組み立てて内装材料として実施したもので、ISO9705 の縮小サイズと位置づけられるものであり、ISO 13784-1 のように自立型の試験体を想定したものではないため、今回の試験結果により ISO 13784-1 と ISO/TS17431 の相関を考えることはできないことを述べた。

*WG7convener は、このサンドイッチパネル材料の模型箱試験結果を、別途報告文書（英文）として提出するよう要望した。

